病気の予防(小学6年・保健)

()小学校()年()組 氏名()



と共同で行う。鹿大が1日、二教授(抗体工学)らのグル学院理工学研究科の伊東祐学の研究を、鹿児島大学大業の研究を、鹿児島大学大

伊東祐二教授

標的狙い撃ち 抗体薬開発へ

と薬剤を化学的に結びつけ 発達システム)を用いて、抗体 とな高機能性DDS(薬物送 抗伊東教授によると、新た

結びつけ 発。今回の研究はその技術で、抗体 と結合させる技術を独自開(薬物送 抗体の機能を損なわず薬剤と、新た 伊東教授らは2017年、

東開発が期待される。 東開発が期待される。 本で、脳の難病などの治療 長。治療効果が高まり、副発機構(AMED)の支援事 器を狙い撃ちできるのが特 発表した。日本医療研究開 ることで、脳など標的の臓

難病治療に期待

と話している。
と話している。
をより進化させ通常は抗体が通りにくい脳の神経無別をに対る。手足の震に薬剤を届ける。手足の震いを指神症状などが起こるがではアルツハイマー病ながを目指す。伊東教授は「希いを目指す。伊東教授は「希いな時にはアルツハイマー病とのにはアルツハイマー病といいのではでいる。

【問1】鹿児島大学が発表した伊東教授らが行う研究は、どんな研究なのでしょう。

【問2】この研究で何が期待されているのでしょう。

【問3】この研究の特長について書かれている文の()に言葉を入れましょう。

新たな高機能性DDSを用いて、()と ()を化学的に結びつけることで、() など標的の()を狙い撃ちできる。

【問4】伊東教授は、将来的にどんな病気の治療にもつなげたいとコメントしているでしょう。

【考えてみよう】脳に関係する病気にはどんなものがあるか 調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

抗体(こう・たい) = 体内に入ってきたウイルスや細菌などの異物(抗原)と結びついて排除するタンパク質のこと。

医療(い・りょう) 支援(し・えん) 薬剤(やく・ざい) 狙(ねら)い撃(う)ち 抑(おさ)え 細胞(さい・ぼう) 震(ふる)え 症状(しょう・じょう) 疾患(しっ・かん) 培(つちか)う=大切に養(やしな)い育てること。

2024年10月2日付16面

©南日本新聞社 教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

南日本新聞和